

## FIN/SUM 2025 初日閉会挨拶

瀬戸内閣府副大臣

令和7年3月4日（火）

内閣府副大臣の瀬戸隆一です。本日はFIN/SUM 2025の初日にご参加いただき、誠にありがとうございました。また、共催者としてご尽力いただいた日本経済新聞社にも感謝申し上げます。

石破総理や加藤大臣からもお話がありましたように、金融の世界は社会情勢やテクノロジーの急速な進化とともに絶えず変化を求められています。もっとも、規制や関係者が多岐にわたることから、理想像をすぐに実現するのは容易ではありません。しかし、そのような環境下でも熱い思いを持ち、より良いサービスや規制のあり方を模索されている多様な専門家の方々が本日ここに集い、AIやデジタル通貨、量子などの議題を中心に活発な議論を交わされたと伺いました。

また、大臣からフィンテックの10年の歩みに触れるお言葉もありました。フィンテックがここまで成長してきた背景には、スタートアップを含む事業者の皆様が切磋琢磨しつつイノベーションに果敢に挑戦し続けてきた結果であります。一方で、これだけ技術進歩が速い中において、一社だけで急激な変革の波に対応するには限界があります。特に非競争領域においては、金融庁を含めて連携の場を積極的に創出し、知見やリソースを共有することがますます重要になっていくと考えています。

金融庁としては、利用者保護や金融犯罪防止、金融システムの安定といった、技術が変わろうとも変わらない金融行政

上の目的を満たすことを前提に、皆様の積極的な取り組みを引き続き力強く後押ししていきたいと考えております。

本年で9回目を迎えたFIN/SUMですが、来年は10回目という大きな節目となります。また、FIN/SUMを核にして国内外のフィンテック関連イベントを結集させる「Japan Fintech Week」も、今回で2回目の開催となりました。明日以降も多数の関連イベントが予定されておりますので、残り3日間のFIN/SUMとあわせ、ぜひお楽しみいただければと思います。

最後になりますが、皆様の今後の活動を通じて、フィンテックが社会をより良い方向へ導く原動力となることを心より願っております。本日はご清聴いただき、誠にありがとうございました。

(以上)